



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第607号
2023年9月11日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

「ぐるっと号」復活を求める市民の思い

八千代市では、高齢者運転免許証自主返納支援事業で毎年約600件のタクシー券を交付していますが、交付申請されていない数を考慮すると相当数の免許返納者が増えています。

このような中で、日本共産党のもとへは、「思い切って運転免許証を返納したけど、こんなに不便になるとは思っていなかった」という声とともに、ぐるっと号（コミュニティバス）の復活を求める声がとても多く届いています。



アクセスが悪い八千代市の公共施設

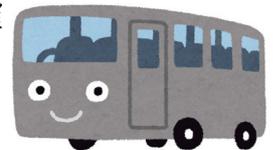
年始に市民会館で開催された新春寄席では、テレビでもお馴染みの落語家さんをはじめとする出演者の方々から、開口一番に「市民会館がこんなに遠いとは思わなかった」と揶揄する声や、習志野文化ホールが長期休館のために八千代市の市民会館を利用された多くの方々在最寄り駅でありながら遠く離れた大和田駅から徒歩で向かうなど、市民会館へのアクセスの悪さが取りざたされています。

実際に、八千代市の公共施設の多くは、公共交通を利用したアクセスが悪く、八千代市役所をはじめ、市民体育館、市民グラウンド、中央図書館など主要な公共施設は、駅から離れた場所に設置されているため、市民や利用者は不便な思いを強いられています。

コミュニティバス実現に向けた実態

八千代市では、2014年度にコミュニティバスが一部地域を除き廃止となってから約10年経過し、市長公約のコンパクトカー等の導入は4年もかけて困難であるという結論に至っており、移動困難者への対策が先送りされています。

日本共産党は9月議会で「公共施設の利便性と利用拡大のためのコミュニティバスの運行」を求めましたが、市は「利用者数が見込めない、既存の民間バス路線の維持確保の観点からも難しい」と回答しています。



せめて駅から公共施設への足を

市の回答を受けて、日本共産党からは「（既存の民間バス路線の維持確保への配慮から）せめて主要駅から公共施設を繋ぐコミュニティバスの運行の実現について」確認しましたが、市の回答は、「既存の公共交通でアクセスできる」というものでした。

市は公共施設へのアクセスの悪さを全く認識していません。このような実態を明確にするためにも、市は利用者へのアンケート等で調査するべきと指摘しました。

外出支援の拡充と連携して取り組むべき

日本共産党は9月議会のなかで、駅から公共施設へのアクセスとあわせて、高齢者等の自宅から駅やバス停までのアクセス改善についても提案しました。

八千代市が実施している高齢者外出支援タクシー券は、「（自宅が）鉄道駅とバス停から、地図上の水平距離で500メートル以上離れている区域」という厳しい縛りがあることを指摘し、習志野市のように、住民税非課税世帯を対象に、気軽に利用できるように求めました。

日本共産党は、福祉による外出支援の拡充と、駅から公共施設までのコミュニティバスの運行を実現することで、誰もが、もっと暮らしやすい八千代市を目指していきます。